

令和3年1月16日  
東京学芸大学附属高等学校

## 各教科からの課題について

附属高等学校合格おめでとうございます。

仲間より一足先に進路が決まったみなさんには、各教科から課題が出ています。これらの課題にしっかりと取り組み、4月からの附属高等学校での学習が円滑に始められるようにしてください。

みなさんは3月までは各附属中学校の生徒です。日々の授業・学習を大切に、残り少ない中学校での生活を充実させてください。

### 〔国語科〕

以下の4つの新書シリーズの中から本を2冊選んで読み、提出用プリント①、②に下記の(1)～(3)を書いて提出しなさい。

岩波ジュニア新書      岩波新書      講談社現代新書      中公新書

- (1) 書誌情報（著者名／題名／出版社名／刊行年）
- (2) 本の内容（300字以内にまとめること）
- (3) その本を選んだ理由（どのような点に興味を抱いたか、自分の生活とのつながり、現代社会における意義、とにかく面白いと思ったところ……など自由に書いてください。）

### 〔数学科〕

- ・学習課題プリントの1～7ページをA4サイズ、片面でプリントアウトする。
- ・1ページに指示されているように、答だけでなく途中経過もプリントに記述し、答え合わせをして（答は8ページ）、間違えたところはやり直しをすること。
- ・学習課題プリント7枚をホチキス（左上）でとめて提出すること。

### 〔英語科〕

- 別紙の指示にしたがって課題に取り組んでください。中学校の授業には最後まで真剣に取り組む、やり遂げてください。

### 〔社会科① 地理的分野〕

別紙、『社会科学学習課題 ★自宅周辺の電子地形図を読もう★』を参照のこと。なお、課題用紙を提出してください。

## 〔社会科② 歴史的分野〕

歴史には「世界の一体化」が進んだ特徴的な時期がいくつかあります。そのうち、ヨーロッパ人（欧米人）の海外進出が進んだといわれる、15世紀後半～16世紀を中心とする時期（いわゆる大航海時代）と19世紀を中心とする時期について、中学校の社会科歴史的分野の教科書を使って、以下の作業をしてください。

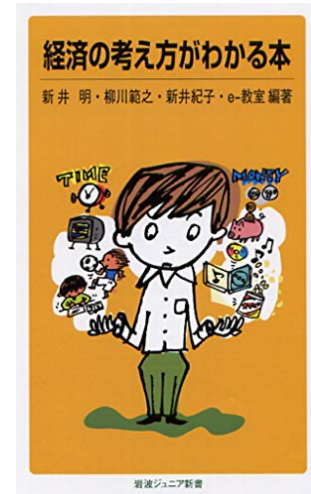
- 1 自分が学習した教科書のタイトルと出版社を確認する。
- 2 教科書に掲載されている年表（巻末などにある全時代をまとめたもの）を見て、15世紀後半～17世紀初めと19世紀の主なできごとを確認する。
- 3 15世紀後半～17世紀初めの世界情勢について、2の作業で確認した事項が説明されているページをよく読んだうえで、この時期の「世界の一体化」とはどのようなものだったか考える。
- 4 19世紀の世界情勢について、2の作業で確認した事項が説明されているページをよく読んだうえで、この時期の「世界の一体化」とはどのようなものだったか考える。
- 5 15世紀後半～17世紀初めに進んだ「世界の一体化」と、19世紀に進んだ「世界の一体化」には、どのような共通点と違う点があるかについて自分の考えをまとめる。

1を所定の欄に記入し、3～5について考えたことを、所定の用紙に文章でまとめて提出してください（分量は用紙を目安としてください）。図や年表を書きたい人は用紙の裏面を使用してください。

### 〔社会科③ 公民的分野〕

『経済の考え方がわかる本』（新井明ほか 岩波ジュニア新書）を購入した上で、以下の作業をしてください。その際、必要であれば、中学校の社会科公民的分野の教科書も併せて参考にすること。

- 1 本を読み、内容を理解しましょう。
- 2 本に掲載されている「復習問題」を提出用紙に解きましょう。本には解答例も示されていますので、自分で採点をしましょう。提出用紙は必要であれば複数枚使用しても構いませんが、必ずホチキス止めをして提出してください。



高校では、中学の学習を既習したことを前提に発展的な学習がはじまります。高校生になる前に、この本に書かれている内容をしっかりと理解しましょう。

### 〔理科〕

別紙、『理科学習課題』を参照のこと。なお、課題用紙を提出してください。

すべての課題を A4 サイズの文書が入る封筒（角形 2 号）に入れ、課題提出用表紙（ホームページに掲載）の口にチェックし課題を同封したか確認の上、〔 〕に中学校名、受験番号、氏名を記入した上で貼付し、3月5日(金)（消印有効）までに本校宛に郵送してください。